



とちょう保育園便り

2022年9月号

8月24日より2歳クラスが一部休園となり、保護者の皆さまには、お仕事の調整をはじめ、多大なるご苦勞とご心配をおかけし、大変申し訳ございませんでした。一部休園中に園内の消毒も行い、8月29日より通常運営を再開いたします。今後ともよろしくお願いたします。

朝夕の風が心地よくなり、あちらこちらに秋の気配が感じられるようになってきました。お散歩先の公園も、元気よく鳴いていたセミの鳴き声から、秋の虫が美しい音色を奏でるような光景に変わっていきます。

これからの季節、秋の虫を探しに子どもたちの楽しい探索が始まることと思います。今からお土産話が楽しみです。

今月も、元気に笑顔で過ごせるように、体調管理をしっかりとしていきたいと思ひます。

とちょう保育園

9月1日は、大規模地震を想定した引き取り訓練があります。通常通りにお迎えにいらした際に、職員の質問にお答えください。その他にも当日は伝言ダイヤルや、法人のホームページ、緊急一斉メールなどをお試しいただく予定です。

いざに備えて、皆さまご協力お願いたします。

9月の予定

引き取り訓練（避難訓練）
身体測定
0歳児健診



とちょう保育園の空気感染対策

先日、法人内研修で

『二酸化炭素濃度測定の意義と二酸化炭素濃度測定器の使い方』を学びました。

- 新型コロナウイルス感染症の感染経路は主に空気感染。
- 感染リスクを減らすためには換気を基本とする。
- 室内の空気を循環させ、二酸化炭素濃度（CO2濃度）測定器を設置し、換気の見える化を図る。
- 室内の二酸化炭素濃度の目安は1000ppm以下にすることが重要。
- 二酸化炭素濃度は、狭い場所にたくさんの人数が集まると上がりやすい。
- 二酸化炭素濃度測定器は、床上75～100cm程度の園児が呼吸する高さの位置に設置する。
- 万が一1000ppmを超えるときには…
 - (1) 換気をする（30分に1回 数分間程度 窓を全開）
 - (2) 窓、ドアの開放が限られる際は安全に注意しながらサーキュレーター等を使用する。
 - (3) 窓が小さい、換気装置のみの室内の場合
サーキュレーター等の設定を「強」にしたり、出入り口や窓など、戸外に向けて使うことも換気に効果的。

二酸化炭素濃度測定器、最近ではレストランやデパートなど街中でも見かけるようになりました。こうした装置を活用しながら、安全な環境を整えていきたいと思ひます。

かわいい交流

ある日のりす組（1歳クラス）さん

ホールにある“ふわふわすべり台”をあちらとこちらに挟んだ子ども同士

Aくん：「いないない…」

Bちゃん：「ばあ！」

Aくん：「Bちゃんいたー♡」

多くは語りませんが、言葉が出てきた

りす組さんの二人のやりとり。心が通じ合っているように見えました。

